

Weekly Report

2020～2021年度



令和2年12月15日(火)
第2018回例会



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブ
のメンバーは、多岐にわたる
業種に所属し、様々な
経験と知識を有している。
この多岐にわたる経験と
知識は、社会の発展に
大きく貢献している。
我々も、この経験と知識を
活かして、社会の発展に
貢献していきたい。
令和2年12月15日
大友 大

◆ 会長/赤本 昌広 ◆ 幹事/平岡 勉 ◆ 会報/玉井 智春

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2018回例会記録 令和2年12月15日(火) 20/44回

<点鐘> 赤本会長

<ソング> 我等の生業

<会長報告> 赤本会長

- 川崎青年会議所より 新年のつどいについて
規模の縮小、身内のみでの開催とのこと。
- 例会の出席において、感染リスクが高く重篤化しやすい人がいるような職場や家庭は慎重にならないので、それぞれ考慮しながらご参加ください。

<幹事報告> 平岡幹事

*近隣クラブ例会変更・案内

川崎西RC、川崎麻生RC、川崎高津RC、川崎鷺沼RC、川崎マリーンRC、川崎中央RC、横浜あざみRC、横浜南RC

*その他

- 横浜南RAC50周年記念例会の報告
親松青少年奉仕委員長→「先週土曜日、50周年記念例会にZOOMで参加しました。内容は50年前の経験談などです」。

<ニコニコ委員会> 鈴木岳人委員

赤本会長→「真冬並みの寒気が流れ込み、とても寒い朝を迎えました。体調管理にお気をつけください」。平岡幹事→「本日は、地区ロータリー財団 補助金セミナー報告です。宜しくお願いします」。以下、感謝を込めてニコニコへ。阿久澤会員、安藤美恵子

会員、青柳会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、伊藤会員、菊池会員、北島会員、小島会員、鴻上会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、野島会員、大矢会員、岡村会員、親松会員、佐々岡会員、清家会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、渡邊会員、山口会員、山木会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、鈴木岳人会員。

<出席委員会> 小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2018回	46	39	7		84.78%
第2017回	46	36	10	3	84.78%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	35件	35,000円	658件	707,000円
財団	0件	0円	8件	136,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	105,000円
米山	0件	0円	19件	290,000円

本日のプログラム

<委員会報告>

補助金管理セミナー報告 古澤会長エレクト

当会では以前、グローバル補助金で、ラオスの子どもたちの歯磨き励行プロジェクトを実行しました。皆さまのご寄付によって、世の中の役に立とうとい

- 第2020回 1月5日 新年例会(特別昼食付) 招聘卓話
- 第2021回 1月12日 会員卓話
- 第2022回 1月19日 会員卓話

うのが趣旨で、地区補助金とグローバル補助金の2種類あります。残念ながら、今年はコロナの影響で簡単にできない状況であり、当会は今年度の申請はございませんが、それでも第2590地区では21のプロジェクトを申請しております。

中でも奨学金は地区補助金2名、グローバル補助金で4名の計6名に奨学金をやっております。



赤本会長からは、主に、資金の使い方、不正使用の2点について説明がありました。



[ロータリーの財団資金]

地区財団活動資金 20万\$

国際財団活動資金 20万\$

[ロータリーの財団資金の支出内訳]

ポリオプラス…45% 1億5100万\$

グローバル補助金…25.9% 700万\$

[2017-18年度の例でみると]

寄付金92%が慈善事業のプログラムとして使用されている。他の財団と比較しても特筆すべき。チャリティーナビゲーター（奉仕団体の格付け団体）からも11年連続4つ星評価で健全性が高い。

[補助金の不適切な事例報告]

- ・補助金専用の銀行口座と、一般会計の銀行口座と一緒にしており、そのお金が何に使われているのか分からない→専用口座を作り、案件ごとに綺麗にし、次の事業の時に利用するようにする。
- ・プロジェクトの総事業費の20%をクラブが負担

という方針があるにも、20%以下になっている。2018-19度は26案件の約半分が20%以下だった。

- ・海外プロジェクトで、書類や領収証など各種書類が現地語である場合は日本語訳を付ける、また金額も交換時のレートを記載がルールとなっている。→地区も対応できず差し戻しとなる為、きちんと管理をする。
- ・支出は原則として銀行振り込みとする。補助金が現金一括で引き出しされ、少額の領収証が数多くあり支出リストがなく、クラブ負担割合が不明確。→きちんと管理をする。
- ・補助金申請時のプロジェクト名称を、承認後に名称変更→事業内容の変更と受け取られ、交付目的外の使用とみられてしまうので、当初の名称を使うようにする。変更の場合は地区に連絡し承認を受けることとする。
- ・完了報告書提出の期限が守られていない。
- ・ロータリアンの積極的参加が必要。しかし、ロータリアンは補助金活動の直接、間接の利益を得る事はできない。→単に寄付金だけと思われるケースがあった。ロータリアンの会社からの物資の調達など。
やむを得ない場合は申請書に理由を明記。3件以上の合い見積もり提出等。ロータリアンの参画。最低でも現地訪問1回望まれます。

[ロータリー財団奨学生について]

■地区奨学金

- ・選考制限なし
- ・上限27,000\$

■グローバル奨学金

- ・選考制限あり…6つのカテゴリーテーマに該当が必要(平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、地域社会の経済発展)
- ・30,000\$ ~50,000\$

皆さまの周りに、大変優秀で社会貢献をしたいという高い志を持っている方がいましたら、この制度についてご案内していただければと思います。

また、鈴木文夫会員からは、グローバル補助金の申請期限についての補足説明などもありました。

<点鐘>

赤本会長